

令和5年度 病害虫発生予察情報

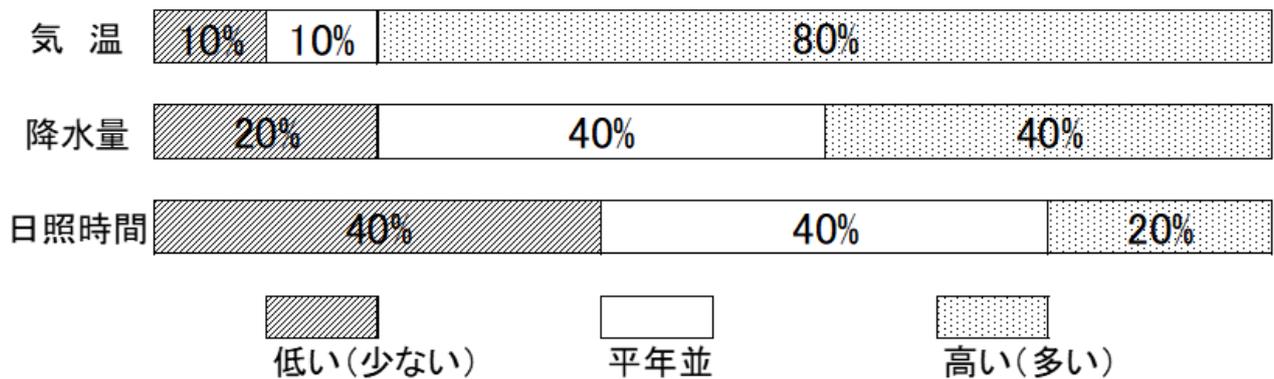
発生予報第7号（9月）

令和5年9月1日
島根県

予報の概要

| 区分 | 農作物名 | 病害虫名 | 予想発生量 | | |
|------|---------|----------|-----------|---------|-----------|
| 普通作物 | イネ | 穂いもち | 平年並 | | |
| | | 紋枯病 | 平年並 | | |
| | | 白葉枯病 | 平年並 | | |
| | | もみ枯細菌病 | 平年並 | | |
| | | ツマグロヨコバイ | 平年並 | | |
| | | トビイロウンカ | 少ない | | |
| | | 斑点米カメムシ類 | やや多い | | |
| | | ハスモンヨトウ | 平年並～やや多い | | |
| | | 果樹 | ダイズ | 黒斑病 | 少ない～やや少ない |
| | | | | シンクイムシ類 | やや多い |
| ナシ | ハダニ類 | | 平年並～やや多い | | |
| | カメムシ類 | | やや多い | | |
| | うどんこ病 | | 少ない | | |
| 野菜 | アブラナ科野菜 | カキミガ | 平年並～やや多い | | |
| | | カメムシ類 | やや多い | | |
| | | アブラムシ類 | やや少ない | | |
| | | コナガ | 平年並～やや多い | | |
| | | アオムシ | 少ない～やや少ない | | |
| | ハスモンヨトウ | 平年並～やや多い | | | |

中国地方1か月予報(9月2日～10月1日・広島地方气象台8月31日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 普通作物

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

①葉いもちの発生量は平年並みである。

②向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

①一部で発病程度の高いほ場もあるが、全般の発生量は平年並みである。

②向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(3) 白葉枯病

予報内容

発生地方 県内常習発生地帯

発生量 平年並

予報の根拠

①本病の発生は認めていない。

②向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(4) もみ枯細菌病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

①全般の発生量は平年並みである。

②向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(5) ツマグロヨコバイ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

①8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は37%（平年43.6%）、捕獲数は9.6頭/50株（平年20.3頭）と発生量は平年並みである。

②8月第5半旬までの予察灯への総誘殺数は16頭（平年317.1頭）と平年に比べて少ない。

③向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(6) トビイロウンカ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

①8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は0.0%（平年36.8%）、捕獲数は0.0頭/50株（平年15.5頭）と発生量は少ない。

②8月第5半旬までに予察灯（出雲市）、粘着誘殺灯（出雲市）で誘殺されていない。

③向こう1か月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(7) 斑点米カメムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや多い

予報の根拠

①8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は60.6%（平年29.3%）と高く、平均捕獲虫数は3.2頭/20回振り（平年5.3頭）と平年並みであった。

②イネカメムシやホソハリカメムシなどの大型カメムシ類の発生ほ場率は42.4%（平年32.1%）、平均捕獲虫数は2.8頭/20回振り（平年1.3頭）とやや多い。

③8月第5半旬までの予察灯へのアカスジカスミカメの誘殺数は152頭（平年197.4頭）と平年に比べてやや少ない

④向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

注) 令和5年度 発生予察情報 注意報 第2号 参照

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、本種幼虫による白変か所数は0.56か所/a(平年0.50か所/a)、発生ほ場率は40.7%(平年29.5%)と発生量は平年並みである。
- ② 7、8月のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部では553頭(平年573.4頭)と平年並み、県西部では122頭(平年393.0頭)と少なかった。
- ③ 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方 県内「二十世紀」栽培地帯
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発病葉率8.8%(平年15.3%)と、発生量は平年に比べて少ない。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(2) シンクイムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 予察ほ場(安来市・出雲市)のフェロモントラップでのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺盛期は平年並み、8月第6半旬までの誘殺数は平年に比べてやや多い。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

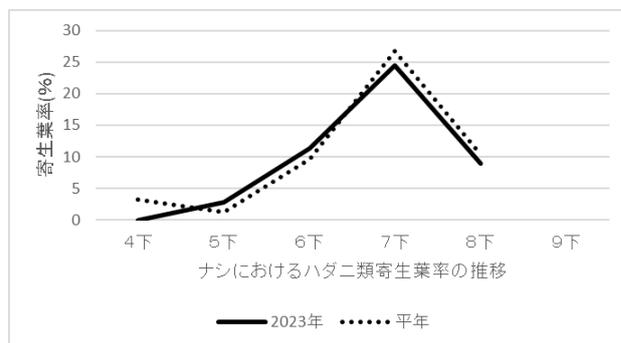
(3) ハダニ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、寄生葉率9.0%(平年10.3%)、寄生虫数19.7頭/50葉(平年12.8頭)と平年並みである(右図参照)。
- ② 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。



(4) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 予察灯(出雲市)における8月第4半旬から第6半旬までのカメムシ類の誘殺数は1,432頭(平年968.1頭)と、発生量は平年に比べやや多い。
 - ② 向こう1か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。
- 注) 令和5年度 発生予察情報 技術情報 第5号 参照

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 少ない

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発病葉率 0.3% (平成 9.7%) であり、発生量は平年と比べて少ない。

② 向こう 1 か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

(2) カキミガ (第 2 世代)

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では第 1 世代幼虫による芽及び果実の被害は、一部発生ほ場もあるが、全般の発生量は平年並みである。

② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

① 予察灯 (出雲市) における 8 月第 4 半旬から第 6 半旬までのカメムシ類の誘殺数は 1,432 頭 (平成 968.1 頭) と、発生量は平年に比べやや多い。

② 8月下旬の巡回調査では被害果を認めていない。

③ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

注) 令和 5 年度 発生予察情報 技術情報 第 5 号 参照

C. 野菜

1) アブラナ科野菜

(1) アブラムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 0% (平成 49.2%)、寄生株率は 0% (平成 8.4%) と少ない。

② 現在までの有翅虫の黄色水盤への 7、8 月の累積誘殺数は平年並みである。

③ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 14.3% (平成 25.4%)、寄生株率は 1.4% (平成 4.4%) であり、発生量は平年並みである。

② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(3) アオムシ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 0% (平成 21.5%)、寄生株率は 0% (平成 2.5%) と少ない。

② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は14.3%（平年14.7%）、寄生株率は1.1%（平年2.0%）であり、発生量は平年並みである。
- ② 7、8月のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部では553頭（平年573.4頭）と平年並み、県西部では122頭（平年393.0頭）と少なかった。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

農林水産省ホームページには、農薬登録情報提供システムが掲載されています。

農林水産省農薬登録情報提供システムのアドレスは <https://pesticide.maff.go.jp/>

島根県病害虫防除所（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772、FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/
e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp